

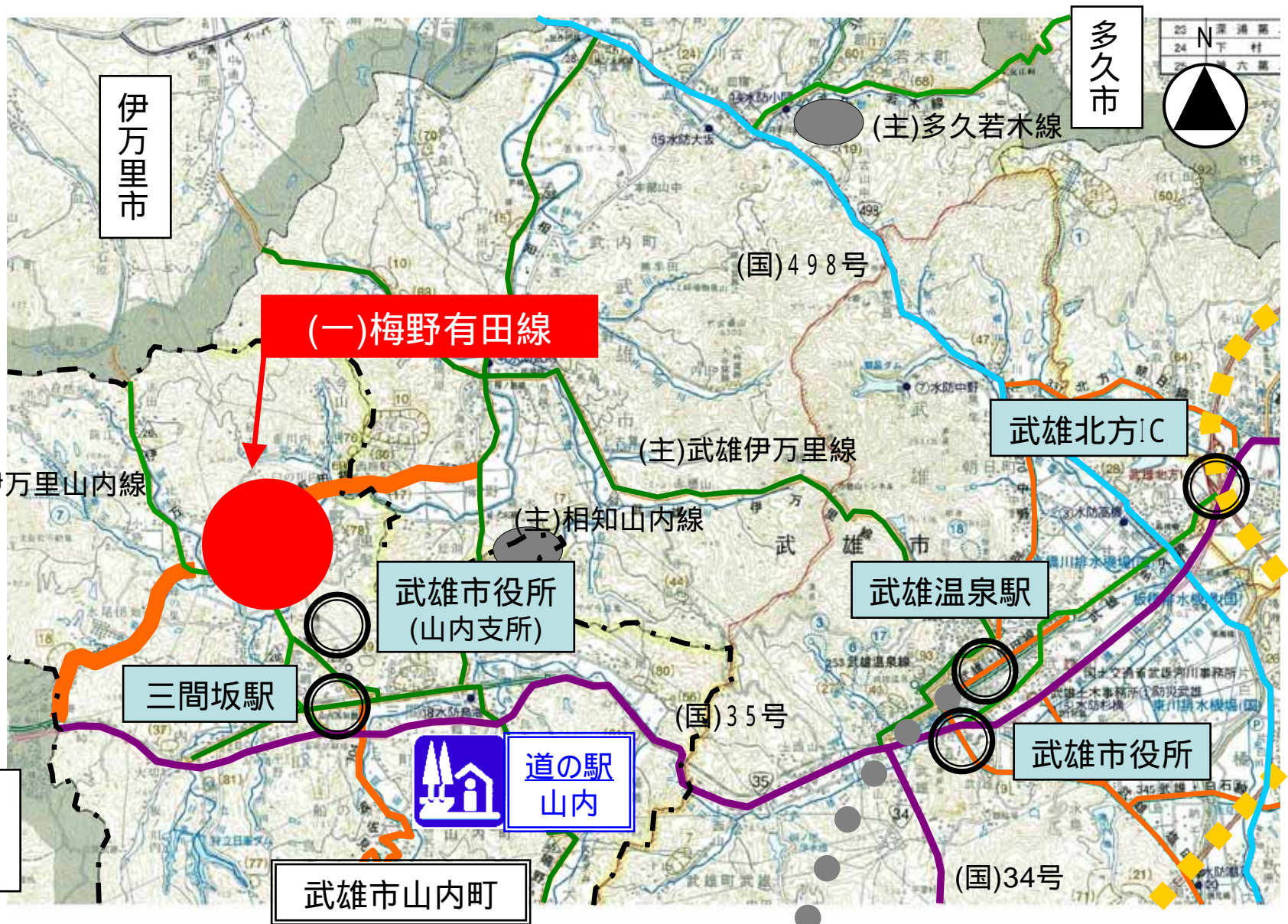
平成21年度 再評価委員会

15. 路線名: 主要地方道 梅野有田線

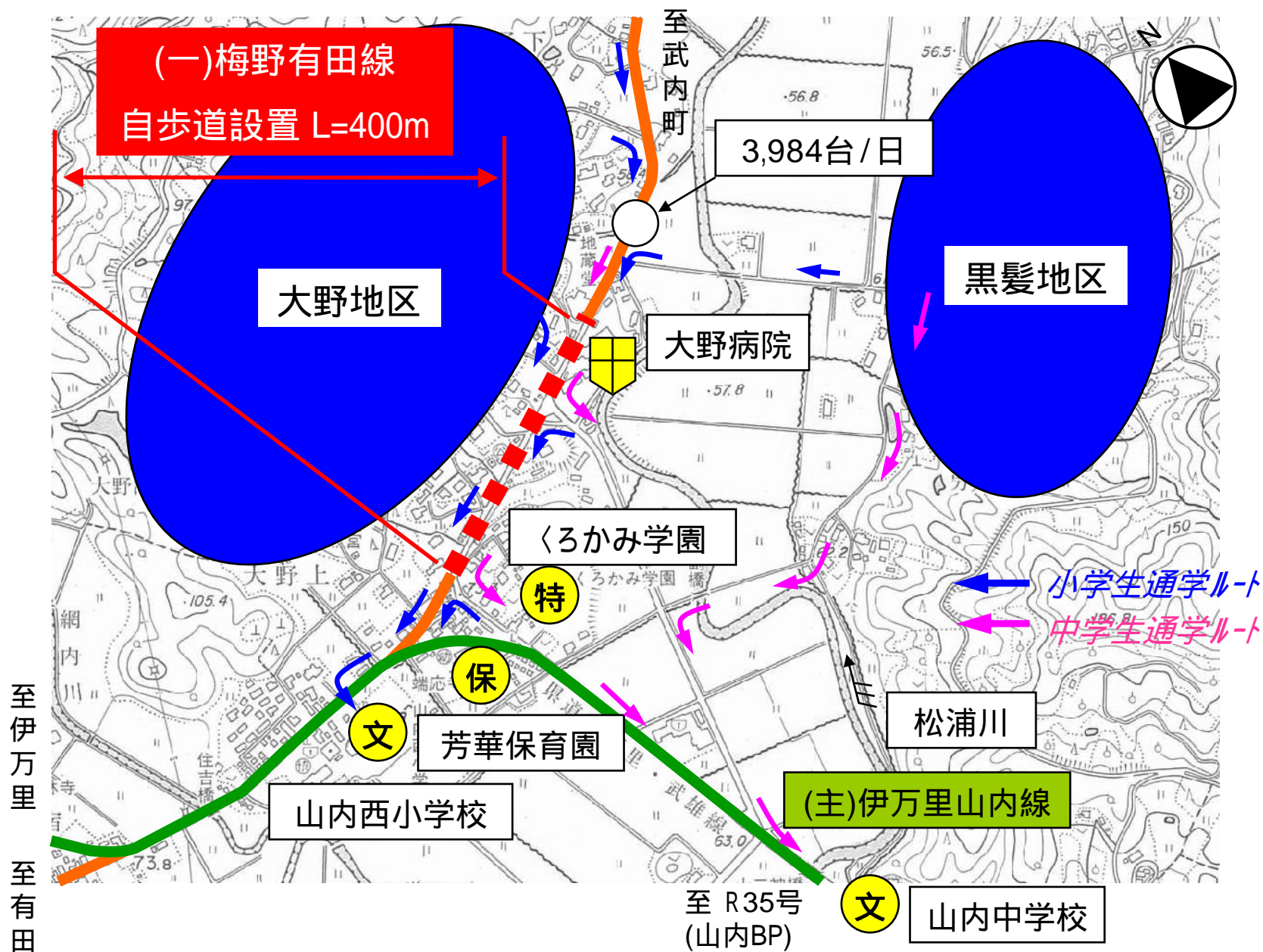
事業名: 地方特定道路整備事業

(着手より10年経過のため再評価)

(一) 梅野有田線の位置



(一) 梅野有田線の概要



事業目的



歩道が未整備
児童が危ない



対向車線にはみ出し
事故発生の要因

歩道の整備、車道の拡幅により

児童、生徒の安全を確保、交通の円滑化に寄与

事業概要及び進捗状況

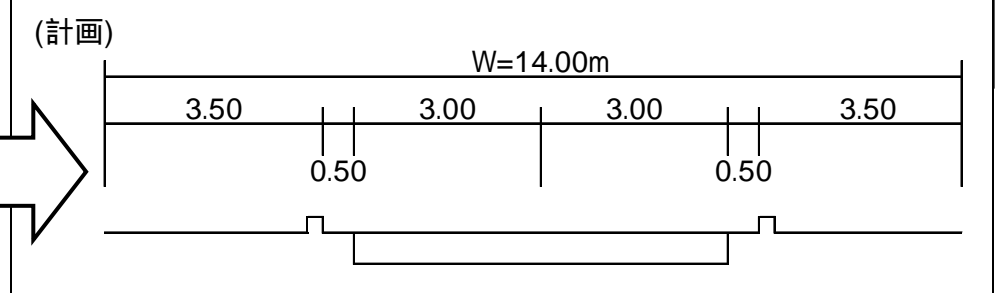
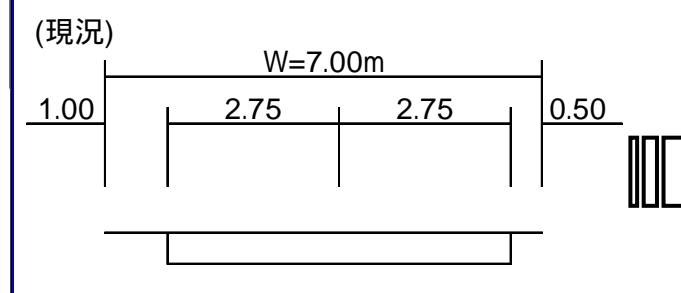
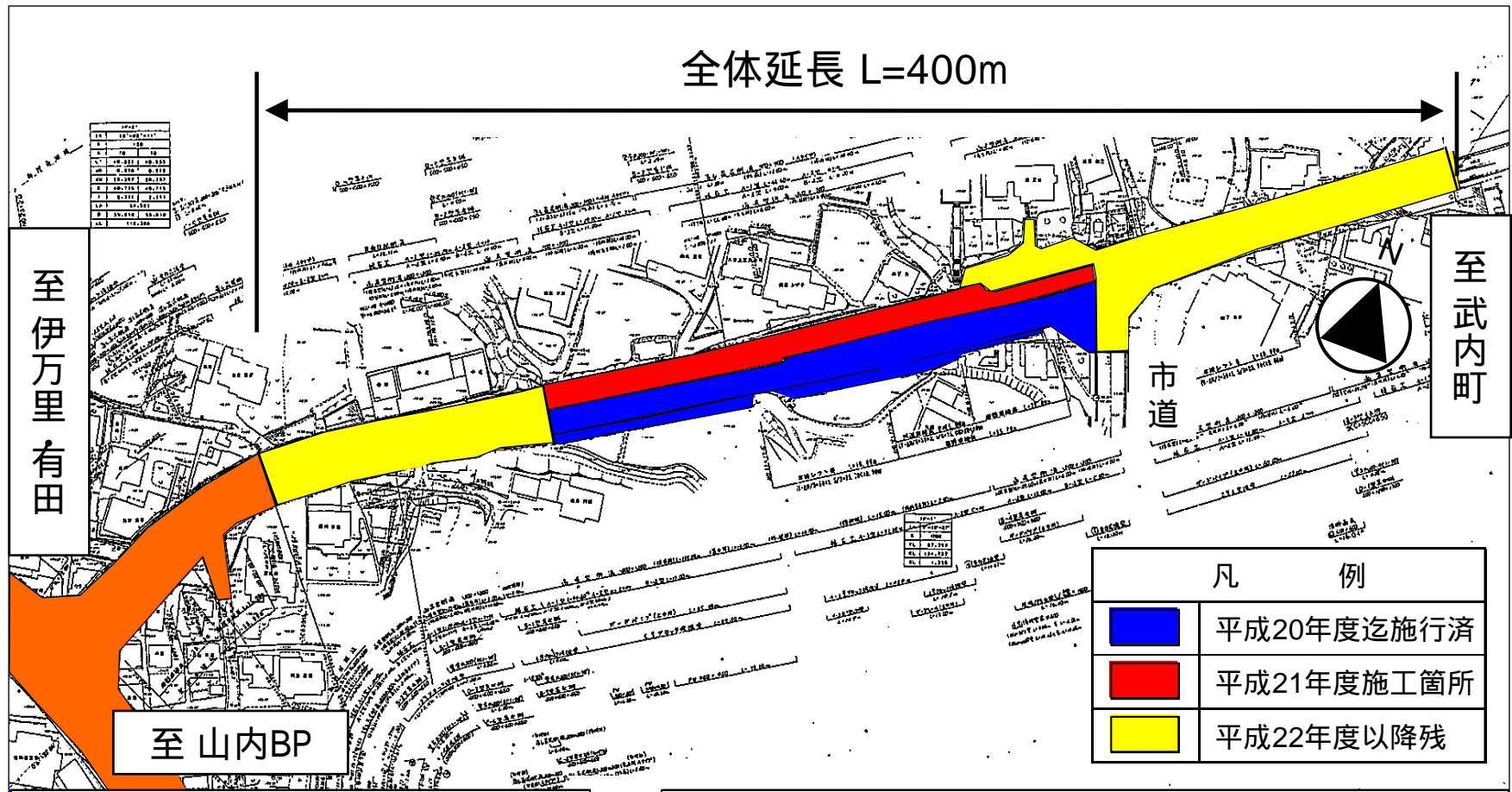
【事業概要】

- 全体事業費：3億8千万円
- 工期：平成12年度～平成24年度(予定)
- 全体延長、幅員：L = 400m W=6.0(14.0)m
- 事業内容：改良工(両側自歩道) L = 400m
用地買収 3,111m² 家屋補償 9戸

【進捗状況】

	平成20年度迄	平成21年度	平成22年度以降
事業費(百万円)	260.7	268.7	380
進捗率(%)	68.6	70.7	100
用地取得率(%)	80.5(2,504m ²)	-	100(3,111m ²)

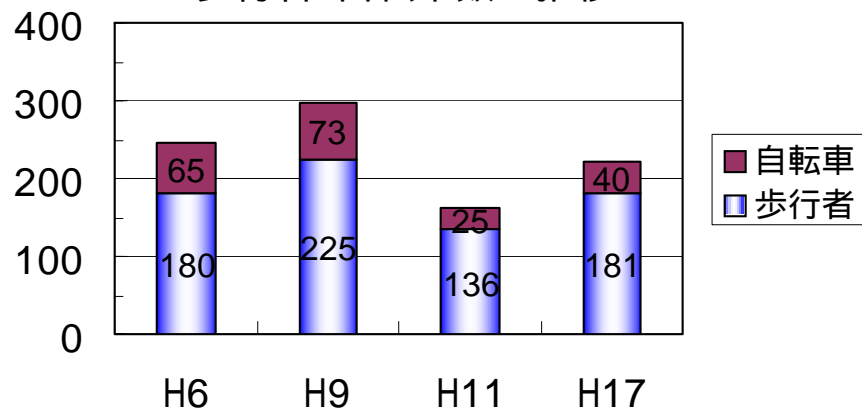
事業の進捗状況(平面図)



事業を巡る社会経済情勢等の変化

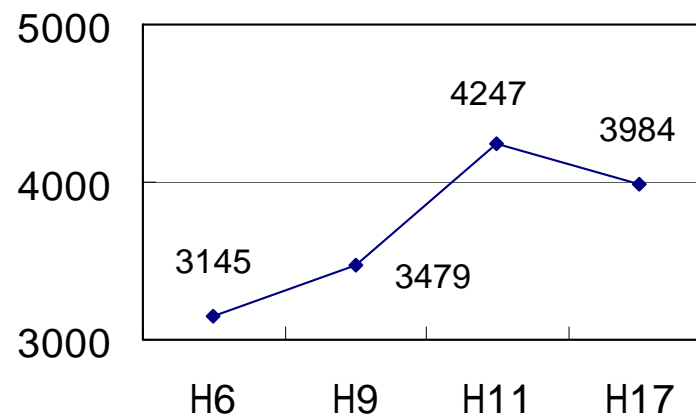
(人・台/日)

歩行者・自転車数の推移



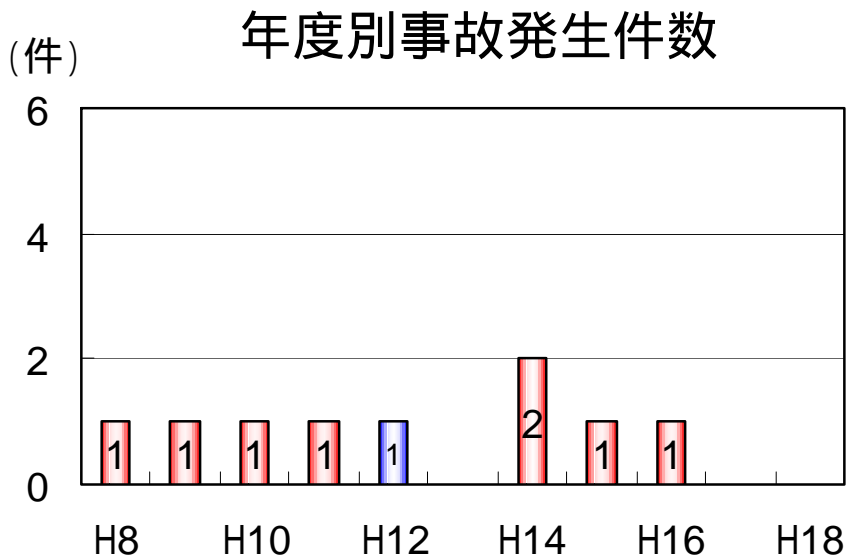
(台/日)

自動車交通量推移

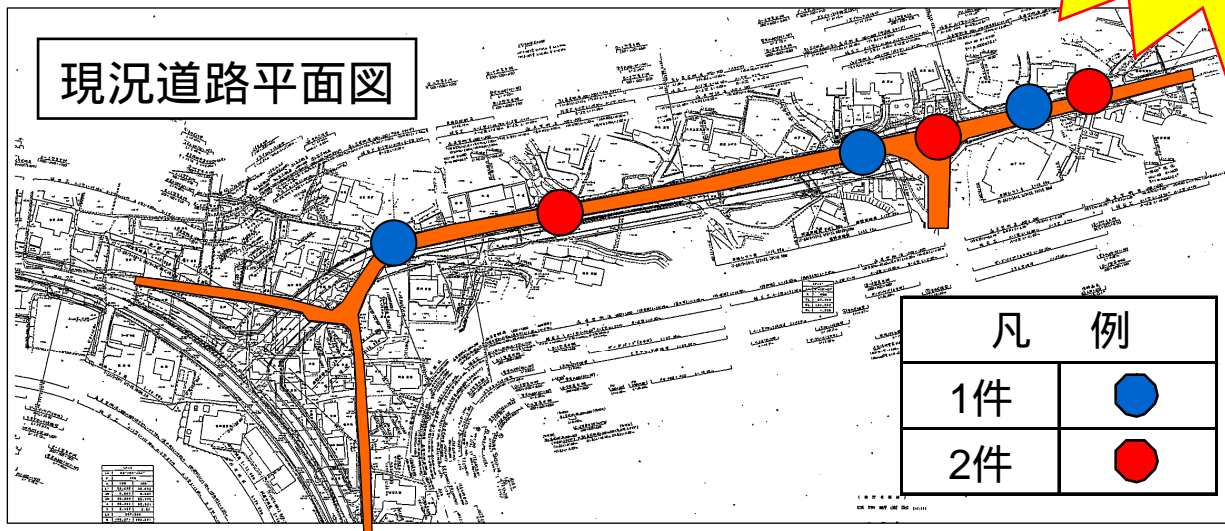


- ・歩行者、自転車は、1日当たり200人以上通行。
- ・自動車交通量は、交通量が増加した事業着手年(平成12年度)とほぼ変化はない。

事故の発生状況。過去11年間(H8～H18)で9件。



車対車の事故が多いものの、通学生が巻き込まれる恐れがある。



費用対効果の要因の変化

- 交通安全事業(自転車歩行者道設置)であるため、 B / C は算出しない。

コスト縮減や代替案等の可能性

【コスト縮減】

- 再生資源の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土は、工区内または他工事の盛土材に流用している。

【代替案の検討】

- 特になし。

今後の対応(事業課案)

- 事業の必要性に変化はない。
- 現在も、依然として児童・生徒の安全は確保されていないことから、引き続き事業を継続したい。